

令和7年度 第1回奈良市スポーツ推進審議会会議録

開催日時	令和8年2月12日（木）午前9時00分～10時30分		
開催場所	市庁舎103会議室		
出席者	委員	高橋会長、天野副会長、笠次委員、成瀬委員、福山委員【5人出席】（野阪委員、星野委員は欠席）	
	事務局	谷田市民部長、池田市民部次長、北出課長、小笠原課長補佐、山副総務係長、佐々木スポーツ振興係長、平野	
開催形態	公開（傍聴人 0人）	担当課	市民部 スポーツ振興課
議題 又は 案件	<ol style="list-style-type: none"> 1 令和8年度にスポーツ団体に交付しようとする補助金について 2 令和8年度の施設整備について 3 ネーミングライツについて 4 第85回国民スポーツ大会・第30回全国パラスポーツ大会について 5 その他 		
決定又は 取り纏め 事項	2 「令和8年度にスポーツ団体に交付しようとする補助金について」は、「妥当適正」と認められた。		

議事の概要及び議題又は案件に対する主な意見等

1 令和8年度にスポーツ団体に交付しようとする補助金について
事務局より次年度の補助金交付について、団体概要と補助金額の説明を行なった。
下記の質問等があったが、妥当適正と認められた。

【意見、質問】

（委員）地域スポーツ団体が五つ有るが、これ以外にも地域スポーツ団体は有るか。
（事務局）提出の無い団体は把握出来ない。

（委員）120万円の増額だが、ずっとではなく次回下がるということか。
（事務局）日韓対抗中学・高校生ゴルフ選手権は隔年、全日本軟式野球大会は来年度だけである。

（委員）補助金について、新規申請の方法は公開されているか。
（事務局）公開はしていない。新規補助金については申請可能だが、予算化は困難である。

（委員）公募しているか。
（事務局）していない。

（委員）既存の団体は高齢化が進んでおり、運営が厳しい。運営可能な新規団体のために枠組みを作らなければならない。そして公開すべきである。去年と同じ申請であれば、進展が無い。新たに要求をすることは、既存団体に困難である。
新たな運営可能な人達からの提案を受け入れる枠組み、窓口を作るべきである。

(委員) 補助金を出している団体の活動を広報しているか。また、補助金を使った活動をホームページ等で紹介をしているか。

(事務局) しみんだより、ホームページの掲載、ラインによる周知を行っている。市スポーツ協会加盟団体は市スポーツ協会で紹介している。

(委員) 中学校部活動の地域展開に関する予算の可決が無かったことについてどう対応していくか。

(事務局) 教育部と市民部と調整しながら進め方を検討している。具体的な案を示すことは出来ないが、予算が否決されたからといって、全く何もしないというわけではなく、なるべく子ども達の場所、活動を保証する方向で考えている。会計年度任用職員という形で職員の募集をしており、その方達を中学校へ派遣するという方法で考えている。

(委員) 土日についても。

(事務局) 土日も平日も含めて。中学校で指導出来る方がいれば教えて頂きたい。

(委員) 市スポーツ協会と連携しているか。

(事務局) 市スポーツ協会加盟団体、その下の団体に直接話をしている。

(委員) スポーツ振興課から上げた予算か。国からの補助金は県の方から入るか。

(事務局) スポーツ振興課から上げた。指導員の人件費は県から。

2 令和7年度の施設整備について

事務局より令和7年度の施設整備の状況及び令和8年度に行う施設整備の予定(予算要求)を報告。

【意見、質問】

(委員) それぞれの施設の築年数を聞きたい。今後も改修するのか、建て替えを含めた長期的な見通しを立てていくのか。

なぜかという、築40年くらい経っている複数の施設に億単位で改修ばかりするのか。少なくとも築年数を次の時から報告書として上げて頂くと、その施設に対してこれだけの改修費用をつぎ込む必要が有ると分かる。

(委員) ランニングコースは陸上競技場の外側に有るか。予約は必要か。

(事務局) 外側である。予約不要である。公園のため気軽に来て、走ってほしい。

(委員) 24時間か。

(事務局) 24時間である。夜間照明は有るが、タイマーを設定しており遅すぎると照明が消えている。DMG森精機株式会社からの企業版ふるさと納税による寄付である。

(委員) ランニングステーションの利用客はカウントしているか。

(事務局) ランニングステーションはカウントしている。ランニングコースはカウントしていない。

(委員) コースが出来てから五月雨式に走っていた人が、コース上を走るようになった。トイレの改修はみんな本当に喜んでいる。

(事務局) 市として、古い施設だが、水回り、特にトイレは綺麗にという形で対応していこうと思っている。

(委員) 学校開放トイレは夜間に施錠はされているか。

(事務局) 施錠している。

3 ネーミングライツについて

事務局より、令和8年4月1日から5年以上10年以内の期間で次期ネーミングライツスポンサー(施設特定型)の募集を行っており、現在、奈良市ネーミングライツスポンサー選定委員会で審査中ということの説明。

【質問・意見】

(委員) 応募は何件か有るか。

(事務局) 複数有る。

(委員) 施設全部の募集か。施設一つ一つ切り分けることは考えているか。

(事務局) スポーツ施設も含めての公園全体のネーミングライツである。

(委員) 費用対効果を明示して公募をかけたか。もし明示していなかったとしたら、今後考えた上で金額を上げては。

(事務局) 施設としてこれだけ有るということで、前回の募集金額は1000万円以上だったが、スケボーパークとランニングステーションが増えたためこの額で提示した。どれぐらいの媒体に出ているか調べたが費用対効果に反映していない。

(委員) たった1500万円というイメージである。

(事務局) そこも踏まえ、他市の例でも高すぎたら応募が無いことを認識した上で、今回増額した。適正額は分からないが、例えば日産スタジアムでは、募集したが、減額して欲しいという例が全国的には有る。募集金額は1500万円以上であるものの3000万円の提示でも可能である。

(委員) テレビのような一瞬流れる広告と違い、期間中ずっとである。グーグルマップにも表示される。検索も含めると、費用対効果はすごい。もっと増額出来る。

(事務局) しかし、施設見学の申し込みは少なかった。

(委員) アピールの仕方である。明石では、個人名でネーミングライツをやってる人もおり、嫌な印象を持った。マーケティングを食欲にし、増額するからには根拠を示して、アピールする。地図の検索数、検索サイトの中でのヒット件数をアピールし、そこにお金をかけるべき。マーケティング専用の部署を作った方が良い。

(委員) ランニングコースの寄付額は。

(事務局) 5000万円である。

(委員) ネーミングライツではない5000万円に対し、メリットは。

(事務局) 地域貢献が一番大きい。宣伝よりも奈良市に何かしらしたいということで頂いている。数十メートル間隔で夜間照明があり、シールを貼っている。

(委員) ランニングコースを会場にしたイベントは有るか。

(事務局) オープニングイベントをした。一部奈良マラソンのコースになっている。

4 「第85回国民スポーツ大会第30回全国パラスポーツ大会」について

事務局より中央競技団体からの視察実施状況について報告。

【質問・意見】

(事務局) 補足として、前回10競技と報告したが、ハンドボールの会場が無く、依頼が有り、

1 1 競技になっている。

(委員) 市の施設なので改修は市の予算か。

(事務局) 原則は市の予算である。中央競技団体の指摘を受けて改修をするものは、県から補助金が出る。ただし、1施設につき補助率50%、1億円が上限である。工事額が4億円になっても、県からの補助金は1億円が上限である。

(委員) 先程の話を聞くと、1億円の工事では出来ることが少ない。1 1 競技実施は大変である。分散開催でなければ出来ないと思うが、宮崎は1 3 競技開催である。

(事務局) 大津は1 5 競技開催で、約70人体制である。実際に改修をするのは、鴻ノ池の球場、陸上競技場、中央体育館である。種目は多いが、この三つの中で会期を分けて行う。中央体育館では3種目、陸上競技場で2種目、野球場も軟式野球と高校野球を開催する。

(委員) 剣道の指摘事項が非常に気になる。床の改修、照明の改修、何を指摘しているのか。あれでも暗いのか。

(事務局) 中央体育館そのものというよりも、アップ会場等の照明が切れていたりで、当日は必ず全部明るくして下さいという確認である。床の改修については、中央体育館は年数が経っており、削れている部分も有る。剣道の指摘を受けるよりも前から床の改修は、いずれしなければという話も有った。よく見ると結構削れており、やはり裸足の競技のため必要である。

5 その他

事務局より新しい予約システムについて報告

【質問・意見】

(委員) 地域の支え手から多くの補助金の申請が有ったが、減ってきており心細さを感じる。幼児期から親子で気軽にスポーツが出来るような環境を作っていく。公園関係で難しいとのことだが、投げる、蹴る、受けることがいずれは中学校の部活を経て、トップスポーツへとつながっていくと考える。そのような環境整備も申し上げたい。

(委員) スポーツの裾野を広げる観点から、長期に渡りスポーツを行っている地域団体に対して支援、情報提供が出来る窓口が必要と考える。そういった団体に一番に接するのは指定管理者である。契約の際、指定管理している団体に施設の予約だけではなく、相談窓口とすると、グループの裾野が広がることにつながると考える。

(事務局) 指定管理には市スポーツ協会も入っている。

(委員) 小さなグループが直接スポーツ振興課に相談することは有るか。

(事務局) あまり無い。

(委員) 相談窓口が有れば、気軽にしやすいと考える。

(事務局) 子ども達ということでは、鴻ノ池運動公園の緑の丘の整備をやっており、関西一の滑り台を考えている。

(委員) 滑り台の基本設計は既に出来ているか。

(事務局) 出来ている。

(委員) 途中で一度止まる設計にしないとまずいが大丈夫か。

(事務局) 大丈夫である。

(委員) 日本小児科学会のインジュアリーアラートを確認願う。

(事務局) 担当部署に伝える。

(委員) スポーツ推進計画も5年で一旦どこまで進捗してくるかっていうのをチェックすると思うが、お金をかけているので、予算が計画のどこにひもづいて、どこまで改善しているかを、5年ではなく、毎年意識しながら見える化し、オープン出来る程にしていくと、より予算配分、計画の実行につなげていける。次の資料作成の際、チェックのしがいがある。

(事務局) 次回はそちらも考えたい。せつかく作って頂いたので、進捗管理し、報告していかなければならないと考える。

資 料	<p>【資料1-1, 1-2】令和8年度にスポーツ団体に交付しようとする補助金について</p> <p>【資料2】令和8年度の施設整備について</p> <p>【資料3】ネーミングライツについて</p> <p>【資料4】第85回国民スポーツ大会・第30回全国パラスポーツ大会について</p>
-----	---